

知識・情報共有プラットフォームSoya 開発者のための情報共有フレームワーク

石戸谷 顕太郎 (稚内北星学園大学)

目的

アプリケーションの開発にかかわるプログラムの負担を軽減するため、メタデータとデータ及びそれらを扱うためのモジュール化されたプログラムを、効率的に共有できるプラットフォームとして「知識・情報共有プラットフォームSoya」の開発を行い、オープンソースソフトウェアとして公開を行いました。

実装されている機能

- 呼び出し手法に対する依存性の排除
- 全モジュールをWebサービスで提供
- サービス指向アーキテクチャによる拡張可能性の確保
- データベースへの依存性の排除
- RDF(RDF, Schema, Ontology)の格納、取得、利用
- データのフォーマットに対する依存性の排除
- リソースへの一意なURIの発行
- SQLによるデータの検索
- RDQLによるシングルモデル検索
- TriQLによるRDFのマルチモデル検索(Kaibashira)

公式Webサイト

<http://soya.guarana.cc/>

開発リポジトリ

[http://
repository.guarana.cc/](http://repository.guarana.cc/)

知識・情報共有プラットフォームSoyaの開発は、IPA未踏ソフトウェア事業の支援を受けながら、日本最北端の土地、稚内の稚内北星学園大学に所属する下記メンバーによって行われています。

石戸谷 顕太郎
角 正史
溝口 義一
太田 生人